

工事の進捗状況

2018年度完了予定

①セントラル病院前交差点

交差点北側・西側に右折レーンを設置。横断歩道の歩行者のたまり空間確保。東側入り口部に大型車通行抑制を図るため車止めを設置。



②三芳中学校前交差点

交差点北側・東側に右折レーンを設置。横断歩道の歩行者のたまり空間確保。



③幹線14号線歩道整備（東区間）

南側歩道整備。引き続き、次年度は西区間を整備予定。高速道路を跨ぐ歩行者が通行可能となる歩道橋の設置。



お知らせ

安全な運用のために

開通時期を 2019年3月

↓
2021年度以降に変更

住民の皆さま、利用者の皆さまに安全に安心してご利用いただくために、開通時期を変更しました。早期開通に向けて事業を進めていきます。具体的な開通時期は見通しが整った段階で改めてお知らせします。



スマート IC フル化に向けて工事中



東京方面への出入りや車種制限を大型車までに拡大する三芳スマート IC のフル化整備事業。進捗状況や今後の予定についてお知らせします。

☎ 道路交通課スマート IC 整備担当 ☎ 227・228

フル化による効果

利便性向上

東京方面への往来が可能となることで移動の選択肢が広がり、利便性が向上します。また、慢性的な渋滞が確認されている所沢 IC 周辺道路や川越街道を回避することができ、都心への移動時間が短縮されます。

産業・観光・商業の活性化

首都圏に近く、各主要な高速道路にアクセスしやすい立地環境であることから、各産業における流通コストの削減や時間短縮のメリットが考えられます。企業の立地を促すとともに、既存の企業の町外流出を防ぐことにつながります。さらに都心からの来町者をターゲットとした観光施策の展開や観光分野における新たな産業の創出が期待されます。

救急医療機関アクセス向上・災害対策

高次医療機関までの搬送時間の短縮につながります。また、三芳 PA が災害時における救援部隊の参集場所となることから、迅速な救助活動や支援物資の輸送が可能になります。

地域イメージ向上

集客力の高い PA とともに、利用者が多い交通拠点となることから、知名度の向上につなげ、町のランドマーク（地域の象徴）として確立させていきたいと考えています。他の地域からも認められる広域主要施設であるとともに、エリア周辺を含め、情報発信拠点としての役割を担うことを期待しています。

続々と進む企業立地

三芳スマート IC 周辺の町道幹線 3 号線を企業立地促進指定エリアと定め、流通業務施設の誘導を図っています。平成 29 年度に企業誘致担当を設置以降、積極的に誘致活動を進め、上富・北永井地区に区域指定を行いました。指定に向けた協議も継続しています。



企業誘致第 1 号の工事着工の様子。

三芳への企業立地

三芳町は地盤が強固、河川がないため災害の心配も少ないことに加え、都心から 30 km でアクセスが便利など、企業の拠点として最適な地域です。スマート IC のフル化によってさらに利便性が上がり、企業活動が活発になることが予想されるため、積極的に企業誘致を行っています。

ハイフ運用からフル化へ
現在は出入り方向が限定され、下り車線（新潟方面）は入り口のみ、上り車線（東京方面）は出口のみの運用となっている三芳スマート IC。フル化によって東京方面への利便性が高まるだけでなく、車種制限が大型車（車長 12 m 以下）まで拡大されるため、観光バスやトラックが通行できるようになり、企業活動が盛んになるなど地域の活性化につながることを期待されています。

また、緊急車両が通行できるようになることで、高次医療機関への搬送時間の短縮や迅速な救助活動が可能となり、暮らしの安全・安心にもつながります。